

第2部

意見・要望

I 障がい者

1 福祉全般

- 現在のところ不自由な体を動かしながら、毎日動くようにがんばっていますが、やがてすべてのことでお世話になると思われます。(身体)
- 今は元気に生活できるので、支援についてはあまり深く考えたことはないです。(身体)
- 病気の進行により誰かの助けがないと日常生活が困難になってきた。通院の手伝いだけでもと思うが、症状に波があったり、気持ち的にも行政に相談することにまずためらいがあり、なかなか助けてと言いつせない。それと、たぶん何を利用するにしても手続きに行かなくてはならないことがつらい。遠い。(身体)
- また市のイベントに参加したいです。(身体)
- ヘルプマークがほしい。(身体)
- ケアマネジャーさん、皆さんにとってもよくしていただいています。これ以上なことはありません。(身体)
- 療育手帳A（最重度）を支援（理解、判断がまったくできない。生活全般に介助が必要）している親より。本人には意見要望などわかりませんので。小牧市は第5（1～4）期の障がい福祉計画で、最重度の知的障がい者（児）が地域で生きていくために何を行ってきたのか具体的に教えていただきたい。障がい者といっても様々な障がいを持ち、障がいの程度も違うので改善されてきている部分も感じていますが、最重度の知的障がいを持ったものが地域で生きていく上で、良くなったこと、過ごしやすくなったことは何でしょうか。そして今回の第6期の障がい福祉計画で、最重度の知的障がいを持つ者が生きやすくなるためのものはどんなことでしょうか。最重度の知的障がい者（児）のところまで届く計画内容であってほしいと願っています。(療育)
- 弟が記入しました。本人は話の理解が乏しく、家族の負担も当たり前のように生活しています。現在、様々な支援を受けていますが、家族としては負担が大きくなるばかりです。皆様のご協力に感謝しています。(療育)
- 家族にもわかりやすい支援をお願いします。(療育)
- 福祉施設の職員さんは大変よくしてくれますが、仕事の内容はもう少し充実してほしいと思います。障がい者の支援区分認定や年金の更新でお医者様の診断書や意見書が必要ですが、それをお願いしたり、先生を探すのがとても大変なので、療育手帳の時のようにふれあいセンターなどで月に1回か2回、精神の先生が来ていただけるようにしてもらえるとありがた

いと皆思っています。(療育)

○療育手帳Cですが、小牧市の方からどのように変化しているかわかるようにお話をしに来てほしい。広報が来ても読めない。療育手帳をカード式にしてほしい。知的障がい者にもっと優しい市になってほしい。(療育)

○障がい者にも住みやすい優しい市であることを強く願っております。小牧市で生活して、住んでよかったと。(療育)

○障がい者が重いと大声、多動などで他の利用者とのトラブルが多いので利用制限も多い。地域にもそのせいでなかなか連れ出すのが大変であり、本人も家の中でボーっとしてしまう(家族の見守り必須)。入所施設や日中一時など相談員にお願いしているが、まったく紹介もなく進展もない。春日井市の施設は市民優先です。小牧市が施設を作らないなら、補助を出して利用枠の確保をお願いしたい。(療育)

○障がい者を取り巻く環境はますます高齢社会、単独世帯増加の時代の潮流に影響されることが確実視されています。限られた財源の中で障がい者の一層の自助努力が必須です。行政等は、①その自助努力を促す施策の一層充実、②最低限を下回らない生活支援、③お話しボランティアの拡充により、孤立化を防ぐ支援、④障がい者の個性に応じて、多少の喜びを感じられるよう指導していくきめ細かい支援があるとよいと思います。(精神)

○小牧市含め、愛知県はITインフラをしっかりと整えるべきです。これからの時代を考えてそうすべきです。ネット上で手続きをできるようにしてほしいです。(精神)

○たとえ障がいがあるとしても素晴らしい能力を持った方が数多くいらっしゃると思うので、その方達にもきちんと光が当たるような社会にしてほしいです。(精神)

○いつも障がい者のことを考えてくれてありがとうございます。今までの支援で十分満足しているのでこれからもお願いします。(精神)

○小牧市から障がい支援を受け、お世話になっています。(精神)

○重度の人や医療ケアの人が利用できる事業所が限られているので、もっと増えてほしい。特に看護師さんの確保が難しいので、手当てを付けるなどの市独自の工夫をしていただけるとありがたいです。(身体・療育)

2 障がい福祉サービス、介護保険サービス

○障がい者としてのサービスは、タクシーチケットをいただく又はガソリン代、医療費免除以外は利用していない。介護認定2としてのサービスだけです。タクシーチケットの枚数を増やしてほしい。基本料金だけでいいのでせめて1週間に1度利用、往復(月8枚×12か月)

- はほしい。(身体)
- 現在は障がい福祉サービスを必要としていませんが、今後見込まれる障がい発生や家族環境の変化によってはお世話になると思います。(身体)
- 事業所を3年前から利用していたが、職員の方が2年くらい前に代わり、今までのゆるゆるすぎる状態から厳しくなり、無理やり会社の履歴書を書かされ、とても嫌な思い出があります。デイケアを小牧市に作ってほしい。昔から利用していた利用者もやめていきました。(身体)
- 小牧市内に安心して通える生活介護、日中一時支援事業所を作ってほしい。医療的ケア児者はほとんど通える場を選べない。やむを得ず春日井の事業所に通っているが、もう少し利用時間を長くしてほしい。春日井在住の方に遠慮してしまうし、これから利用したい人も多いし何とかしてほしい。福祉課の方にはいつも窓口では丁寧にわかりやすく対応していただき、嫌な思いをしたことがあまりありません。感謝しています。(身体)
- 介護保険と障がい者福祉支援の関係などがよくわかりません。どのように理解し、どのように区分して利用するのか、双方を一つとして利用するのか、どうしたらよいか。(身体)
- 居宅介護を利用していますが、障がい者が手伝ってほしいと望むことがサービス外でやってもらえないことが多すぎます。「家族にやってもらって下さい」と言われても、その家族がやってくれないから困っている障がい者は多い。もっと血の通った福祉サービスを望みます。障がい者が助け合って住めるグループホーム(身障者の)をつくってほしい。家族と住むのは限界が必ず来ます。(身体)
- 今のところ両親は元気で、また家の環境も整っており、本人も元気で何とか力を合わせて在宅で生活できています。福祉の助けがたくさんあるおかげだと感謝しています。できるなら両親といつまでも元気で在宅を続けたいと願っていますが、近い将来、離れなければならない力の限界が来ることはわかっています。できるなら小牧市内にグループホーム又は施設ができて、昼間は会いに行ったりして、離れて生活していても心だけは近くに生活していきたい。今は春日井、一宮など遠くしかなくて、なかなか決心できないでいます。(身体)
- 移動支援認定を受けていますが、ヘルパーさんの人員が少ないために外出は無理ですね。一度も利用したことがありません。(身体)
- A型に通う交通費補助があると嬉しい。(身体)
- 月2,000円の手当しかもらっていない。手当の額をせめて1万円以上にしてほしい。(身体)
- 利用している事業所の方には大変お世話になっているが、やはりパートの方が多く、もう少し男性の方が長く働ける場として賃金が安定するよう配慮していただきたいです。新卒の方

- が一つの選択肢として福祉の仕事を選んでいただけるようになると思います。(身体)
- 自分で入浴することができますが、細かな部分を洗えないため、月に一度でも入浴サービスを受けられるとよいと思います。(身体)
 - 障がい児通所支援の事業所はたくさんありますが、大人になって障がいになった場合、生活介護へ行けるところがないです。通っていたところの2人いらっしゃった看護師さんはコロナの件で子どもを預かってもらえず、休職されたために事業所からお断りされました。ヘルパー事業所さんも人手不足で、入れない日はお休みになり困るため、相談員さんにヘルパー、生活介護の事業所を探していただくようお願いしましたがないとのことでした。在宅介護、これから先のことを考え不安がないと言ったらウソになると思います。(身体)
 - 今のところは喜んで行ってきています。(療育)
 - 障がい福祉サービスの事業所は、手のかからない利用者から優先して選ばれます。重い区分の人ほど支援を必要としています。弱者が安心して利用できる福祉サービスであってほしいです。(療育)
 - 日曜日に預かっていただける場所があると大変助かります。(療育)
 - 重度の障がいがあるといろいろな支援を使用したいと思っても断られるのではないかと思います。「行きづらい=利用できない」になって結果利用していません。受け入れもしやすい環境であってほしい。施設は楽な人を望んでいるということをよく耳にします。(療育)
 - 短期入居施設が近くにほしい。(療育)
 - 日頃の計画的な支援は大変助かります。ただ、突発的に支援をお願いできるところがなくて不安です。また、近くに通うことは定員がいっぱいのためできません。(療育)
 - 学校卒業後、生活介護施設でお世話になっていますが、両親が共働きのため、送迎時間を特別に調整してもらった上で利用しています。今後、児童デイサービスと同等の利用時間の確保、又は他のサービスでの補填を希望します。(療育)
 - グループホームは現在検討中ですが、グループホームの室は空いているけど、お世話をしてくださる方が見つからないので室は空いたまま、というお話を以前にグループホームの運営の方から聞きました。ヘルパーさんや生活支援員の方々の支援があればこそその制度だと思います。ヘルパーさん、支援員の方々、いつもありがとうございます。福祉サービスが充実したものであるよう、よろしくお願い致します。(療育)
 - 小牧市では施設(就労継続支援A・B、生活介護)などの送迎に移動支援が使えないのは大変不便です。本人が自力で移動できないので、親の負担が大変です。親も50代ともなると介護、体調面、仕事が辛いです。移動支援が使えるようになる事業所を増やす、または施設が

- 送迎サービスができるよう市に補助をしてもらいたい。(療育)
- 移動支援を利用したことはないが、将来的に車で病院などへ連れていってくれたり、代わりに薬などを取りに行ってもらえたらと思う。(療育)
- 担当してくださっている相談員の方からまったく連絡をいただけず、移動支援の事業所もみつからないまま何年もたち、全く利用していません。年に1～2回自宅へ来られ、許可なく上がり、本人の自室へ入り面談して帰られると祖母から聞きます。今までの担当者の方は、玄関でお話しされ、家族のプライバシーも守られていました。普段から全く連絡なく、書類提出時だけ連絡し自宅内訪問にはとても困っています。移動支援も早く利用したいと思うばかりです。(療育)
- 移動支援を以前利用させていただきました。大変助かりました、ありがとうございます。ヘルパーさんの都合もあり、月に1回ほどでしたので、もう少し日数が取ればよかったかと思えます。(療育)
- 給料を公平にしてほしいので、親がお金を持参して2,000円を持って行ったが、担当職員に断られました。利用者はとても怒り、心は暗いです。所長さんに給料を上げてくださいという相談もできず、親は心が張り裂けそうです。利用者本人にはいろいろ調節してあるからと言ってなだめています。(療育)
- 家に9時に迎えに来て、4時20分に帰ってきます。送迎は車、昼は食事、仕事は畑、レンタルビデオのテープの掃除(シンナーを使う)。1か月23日、1日も休みません。1日500円ぐらいで1か月1万円です。1時間500円はほしいと思います。1日4時間としても2,000円。弁当を持って行ってもよいのですが、ちょっと少なすぎます。(療育)
- 車7人乗りでは待っていても乗れない。7人ですから「もう乗れません」と言われたことが何回もあります。もっと大きな車を、待っていても乗れる車をお願いします。(精神)
- ヘルパーが家にいる時間が短すぎるので増やしてほしい。(精神)
- 障がいデイサービスに週4回行っています。利用料も安く大変うれしく思っています。(精神)
- 早く病院から出て、施設に入りたい。自由がきかなくて気を遣っています。ひとり暮らしなので優先的に入れてほしい。(精神)
- 5年前と比べて病状も安定してきたせいなのか、最近は小牧市で生活しやすくなったと感じます。もっと、就労継続支援B型作業所の時間を短くできる場所を近所でみつけないかと思うのでご協力願います。(精神)
- 事業所が厳しすぎます。社会が固すぎます。仕事をしに来ているみたいな線引きが嫌だ。(精神)

- A型支援施設のあり方がよく理解できないところがあります（一般就労に向けて就労する場所、訓練する場？）。また、コロナ対策で時間の短縮など事業所としてもいろんな対策が必要になってくると思いますが、就労時間は今までどおりの所定時間を続けていただきたいです。（精神）
- A・B型の支援の職員さんが冷たい。（精神）
- 近くにA型事業所があるのですが、女性の職員さんが早口でまくし立てるので、面接に行きましたが断念せざるを得ませんでした。（精神）
- 施設に通所していますが、親も高齢になり送迎が大変です。送迎をしてくれるとよいがなかなかできず、親が病気のときなどだけお金を出して時間外の送迎になっています。毎日のことなので送迎だけで疲れてしまう。介護施設のように自宅まで送迎がほしい。（身体・療育）
- 今のサービスで満足です。（身体・精神）
- 障がい福祉サービスでの補装具で、手帳の種類ではなく病気の症状でも補装具が必要な人かを見てほしいです。私の場合、難病（もやもや病）の中の症状で、てんかんが入っています。小牧市民病院へ何十回も救急車で運ばれているのが恥ずかしいです。保健センターや市役所の相談窓口の人が困りごと、就労、医療のことを聞いてくれるのかしら。知らなかったです。（療育・精神・難病）
- 急な葬式、親の病気等、本当に困っているときの窓口をつくり、手配できるようにしてほしい。事業所は重度の受け入れをしないので他のところをつくってほしい。（身体・療育）
- デイサービスひかりに通っています。利用人数が少ない日もあるとは聞きますが、娘にとってかけがえのない施設です。目配り、気配りがとてもきめ細かく、安心して預けることができるので、ずっと続きますように願っております。（身体・療育）
- 移動支援ですが、重度の障がい者でも自家用車を利用し、ヘルパーに同乗してもらい、名古屋科学館や車いすで自由に動ける場所へ遊びに行きたい。福祉車両は料金が高く、体調が悪いとき、急に中止することができない。親は年を取り、息子は体力があり外へ行きたがります。（身体・療育）
- 障がい者支援施設に入所しています。親として毎日感謝しています。施設長さん、職員の皆様のご支援を受け毎日元気に過ごしています。
- 重度の平衡機能障がい、メニエール難病、9年間体を仰向けで動かすことができなくて、身体をタオルで拭くときは大変苦心して拭いています。

3 就 労

- 障がいのある子が一番心配なのは自分で給料をもらって生活していけるかということです。働こうとすると企業の障がい者雇用になります。すると時給制になりますので、正社員と比べると不安定で収入が低いです。ひとりでは生活できないので親と一緒に暮らしますが、親は先に死にますので心配です。新しくできた農園のように、障がい者が主になって働けるところがあるととてもうれしく思います。民間企業ではなかなか入りづらかったり、サポートがされないことも多いので、国、県、市など公共で就業のチャンスがあると心強いです。(療育)
- 発達障がいをオープンにして就労すると、求人時点で給与が低い状態がずっと続いています。身体障がいの方は正社員での採用なのと思うことがよくあります。(精神)
- 娘が生まれ育児をしているため、日中家で過ごしたいと思っていますが、もう少し大きくなれば保育園・幼稚園を利用して働きたいと思います。(精神)

4 保健・医療

- 内部障害1級で医療費がかからないからとても助かっています。(身体)
- 知的障がい者が気軽に受診ができる医療施設があるといいと思います。急な病気、ケガなどで病院に困ります。(療育)
- 小牧市では精神科の医院が2か所しかない。市民病院は使えないので町医師を頼らざるを得ないが、2か所しかないので選択肢がない。バス、電車を利用できないものにとっては辛い。(精神)
- 潰瘍性大腸炎を患っており、医療費がすごくかかって生活が苦しいので、医療費が無料になるようにしてもらえたらすごく助かります。全ての医院で無料にしてほしいです。(難病)
- 該当する障がいが「内部障がい」のため、介護より医療が重点で、病気が進行しないようにウォーキングなど運動機能維持に努めています。(身体・難病)
- 医療費の払い戻しのため、わざわざ市役所に出向かなくてはいけないので、郵送でもできるようにしてもらえるとよいと思います。また、振り込みが4か月後というのは遅すぎるのではないのでしょうか。年金でぎりぎりの生活をしている者として。(精神)

5 経済的支援

- 手当のお金を増やしてほしい。(身体)
- お金に困っているので何とかしたいです。(精神)

- 少額年金者への補助。(精神)
- 障がい者年金増額。(精神)
- 小牧市心身障がい者扶助料の支給において、年金受給者はたとえ1円でも、支給を受けている者は支給されないことになっているようです。私の生活費は年金だけでは生活保護費にも届かず、年金と生活保護費を合算して生活しています。同扶助料に支給に関して、0か100かの支給方法から、せめて年金の割合が生活保護費を越えない者への配慮がいただけないでしょうか。(身体・精神)
- 保護費を上げてほしいが、使って生活できない。(手帳なし)

6 交流・地域活動

- 民生委員も知らないので、民生委員を紹介してほしい。(身体)
- 今後自分が年を取っていったとき、障がいのある子のすべてを他者に任せていくのではなく、できるだけ家族という形態を保ちながら過ごしていけるような場、例えば高齢者と障がい者が共に暮らしていける場があればと思います。本人の健康のためにも個人ではなく仲間とスポーツや余暇活動ができる場があればと思います。(療育)
- 家族会に参加しました。皆さま大変な思いをされていました。心が痛みます。職員の方の進行、説明などが不十分でがっかりしました。もっと親身に寄り添っていただきたいと思いました。(精神)

7 まちづくり

- 市内を走る公共バスが、市役所、駅、大型病院、スーパー等、日常生活をする上で利用しやすい路線目印をバスに付けてほしい。今は自家用車で運転しているが、免許を返上したら生活が成り立たない。できるだけ自立した生活をするためにも市内のスマートシティー化を実現してほしい。小牧西駅(旧ピーチライナー)の広場にバスターミナル化導入。またコアとなる拠点は小さなバスターミナル化を実現し、利用しやすいようにしてほしい。(身体)
- 小牧市の町中に車いすトイレはあっても、ユニバーサルベッドの設備がなくて困っています。この10年ほど市役所にもお話に行ったり、要望書にも上げていただいておりますが、「考えます」と言ってくださり早10年。どんな方でもそうですが、障がいを持っている人にとってトイレに行くことは日常的事、そのオムツ替えのできる場所がない。イコール、お出かけができないということです。市役所内には立派なものを作ってくださいましたが、お出かけする土日は閉まっています。土日にトイレだけでも開放してくださいませんか。小牧山に

も立派な建物ができましたが、トイレに行きがっかりしました。どうして赤ちゃん用しかないのか。駅前にも立派なものができる聞き、喜んで話を聞きに行くと図面を見せてくださいましたが、「ベッドを置くスペースはない。もう工事が始まっている」と言われました。その他の点は本当に小牧市ががんばってやってくさっており、感謝しています。でも何より私たち家族にとって必要なユニバーサルベッドがないことは残念で仕方ありません。今後のことをどう考えられているか市長様にお聞きしたいです。(身体・療育)

8 移動・外出

- 現在の図書館に巡回バスのバス停がない。公共の施設である故必要であるべきはずなのに。新しく建設しているから旧図書館には今さらということなのか。それにしてもバス停はない。(身体)
- 選挙のとき、投票に行けず困っています。市が投票所までの送迎の手段を考えてほしい。(身体)
- 名鉄バスの半額制度より、電車(JR・名鉄・市鉄)などの半額制度があれば、もっとスピーディーに目的を達成できるとよく思うことがあります。(精神)
- 巡回バスの本数を増やしてほしい。(身体・精神・難病)
- 送迎バスの1時間当たりの本数を増やしてほしい。待っている時間が長すぎるし、暑い。利用できるスポーツクラブとかがあるといい。(療育)
- 差別ということではないのですが、電車等に乗る際、混んでいる場合、車両を2つほど見送りされるときがあります。待ち合わせの時間に行けません。デパートのエレベーターを利用する際にも間口を空けてもらえずなかなか乗れない。行きたいところへ行けない。車いす駐車場が空いていない。(身体)

9 相談・情報提供

- 障がい者支援区分がわからず、手帳を見ても書いていないため未記入にしてあります。いろいろ聞きたくても相談できず困っています。(身体)
- 障がいサービス利用中、相談員に心もとないことを言われたことがあった。あんなところに委託するくらいなら、もっと他にお願いしてもらいたい。今でもその相談員はいるらしいが会いたくもない。(身体)
- まだ自分でできていますが、もっと年齢が高くなったら困ったことが出てくると思います。そのとき相談したいと思います。(身体)

- 両親とも健在のため、何のサービスも利用しておりませんが、高齢になって参りましたのでいろいろお願いや相談事も出てきます。まずは福祉課を尋ねることでしょうか。(療育)
- 相談支援を利用したらと事業所の方から言われたが、電話しても担当者が忙しすぎてなかなか時間を取ってもらえない。うちの子の場合、そもそも相談支援で何ができるのかがよくわからない。(療育)
- 北・南外山側に基幹又は委託相談支援センターを早急に設置してほしい。その際は現在の4法人以外で。(療育)
- 北、南外山に今の4法人以外で委託相談の事業所を新しく設置してほしい。(療育)
- 息子は強度行動障がいを持つ自閉症です。物を壊したりして、保険を年に何十回と使うので大手保険会社の加入を断られてしまい、別の保険会社に加入しましたが、またいつ断られてしまうか心配です。実費で16万円ほどの支払いもしたことがあります。自分の服を破ることが増えて、月に上下で20枚は新品安値のものを購入していますが、毎月の負担額2万円ぐらい、どこか寄付してくださるボランティア団体があれば情報を教えてもらいたいです。どこかの事業所も親の負担のことは軽視されていると思います。(療育)
- 役所窓口(福祉、年金、国保等)には障がい者に対応できる担当者を配置してほしい。税の免除や控除は申請者が知らなければ受けられない。福祉課がしっかり説明し、他の窓口へ橋渡ししなければ現在の窓口対応では救われません。(精神)
- 精神障がいの場合、見た目にはわかりにくいいため周りに理解されないことが多々あります。困ったときにどこに相談したらよいのかを詳しく知りたい。(精神)
- 精神障がいの日常の色々なことを相談に乗ってくれる所と人がほしい。(精神)
- 発達障がいがありますが、市の相談員さんやデイケアの職員の方、ヘルパーさん、B型の支援員の方がよく相談に乗ってくれて助かります。そのようなサービスを受けられて本当によかったです。自立し、今後は人の役に立てるように恩を返していければと思います。サービスの手続きなど本当にありがとうございます。市の職員の方のご健康、ご活躍、ご多幸を心からお祈りしております。コロナから守られますように。(精神)
- 私(母)が死んだあとのことが気掛かりで、成年後見制度の研修を受けたことがありますが、それきりになっています。尾張北部権利擁護支援センターへ本人と相談に行くタイミングがわからないまま今に至ります。(精神)
- 母親としての意見です。家族構成は、母親(87歳)、兄、本人の3人です。母親の私が家事全般を管理しています。兄も統合失調症で受診しています。私が死亡した時点で二人は自分たちで生活していくと口では言うため、それなら今のうちに家事を教えておきたいと毎日のよ

うに勧めておりますが、実行することはありません。現在の状態ではどう考えても自分たちで生活できるとは考えられません。その時自分たちでやっていけるかを含めて相談していただく人が必要と思ひ、そのことが一番の心配です。(精神)

○お願いします。相談支援の職員さんが、利用している事業所の職員さんであるため、困ったことがその事業所のことであった場合に、公平に相談に乗っていただけないということを聞いたりします。できましたら全利用者の方々皆、利用している事業所以外の相談支援員が行うよう制度を変えていただけると本当の相談支援が行えると思ひます。本音で相談できない(虐待など)ので、ご検討よろしくお願ひ致します。(身体・療育)

○アンケートを前回は記入しましたが、何ら改善されているように感じません。改善されているのであれば情報発信していただけると助かります。(身体・療育)

10 障がい者理解

○弱い立場の人たちもいることを認めてほしい。(身体)

○心無い嫌がらせやいじめは止めてほしいです。障がい手当は自立の下、なくしてほしいです。

これは逆に迷惑です。優しい気配りを求めます。(精神)

○脳の障がいは「精神病」「性格が悪い」と決めつけられ、見た目でわからないので、どんなに悩んでもどうしようもない。死んでしまいたい。(精神)

○いじめで悪口を言われて困っています。警察に訴えることができますか。(精神)

○差別を生まないようにすべての人に理解してもらえるような活動をしていってほしい。

11 今後の生活への不安

○お世話になってはいますが、あまり役に立っていないように感じています。私が苦しい体調ながら、まだどうにか一人暮らしができ、中途半端な状態だからかもしれません。しかし子どものいない私は近い将来どうなっていくのだろうと不安でたまりません。(身体)

○介護する人がいる家族は支援のためフルタイムで働くことが難しいため、早期退職をしました。自分達もこれから高齢になり、生活していくための生活費もかかり、不安になることもあります。(身体)

○福祉サービス等の支援をいつもしていただきありがとうございます。親亡き後の生活が心配です。将来ホームヘルパーさんに家事援助等をお願いする場合、希望の時間に支援していただけるヘルパーさんがいるのか不安です。今回の特別定額給付金も本人は理解できない(郵便物が届き、自分で申請しないと10万円は受け取れない)ので、障がい者ひとりでは、親亡

き後は申請できずに終わってしまう。どの制度も基本的に自己申請なので、このような理解力のない障がい者（知的IQ50以下）に支援をお願いします（本人からは役所へ相談にも行けません）。自分が困ったときに相談にひとりで行けません。緊急小口資金、生活支援金等の申請も理解が難しく、自分が対象になるのかもわからない。障がい者が小牧市で生活しやすく、わからない、知らないとかで不利益にならないまちづくりをお願いします。相談支援員さんが今後コロナのようなことが起きたとき訪問し、聞き取りをしていただけると親亡き後少しは安心できます。勉強不足ですが、自立生活援助をすれば支援していただけるのでしょうか。（療育）

○片親（母）、兄弟もなく、障害年金のみで現在のグループホームにお世話になるのが難しくなると思われます。他に頼る当てもなく、私（母）が働けなくなったらどうすればいいのかと不安で仕方ありません。回復見込みのない定期通院、検査の必要な病気である息子をこの先どうしたらいいものかと心配です。（療育）

○自営の母親は現在62歳で、いつまでこの生活ができるか先が見通せません。その後をどうしたらいいのか現在困っています。（療育）

○自分もそこそこ年を取ってきました。親も高齢になり、先のことが不安です。住む所や収入（生活費）、精神的な支え、死ぬまで心配です。今までやらないことが自分には多くあるため、知識、一般常識も不足しています。持病も抱えているため健康面も不安です。今まで長く続いたことがないため仕事もダメでした。しかし、できれば一般就労への挑戦もこの先してみたい。精神の方は3月に薬が変わったため、すごく状態がよい。しかし一年ほど前から治療しているぜんそくが今は楽観できません。ずっと付き合うことになりそうです。もう人生も半分ぐらいまで来てしまいました。19歳で病気になり、時間も経ってしまいました。いろいろな人に負担をかけました。本当は後ろめたい気持ちで生活したくない。普通に扱ってほしいという気持ちがいつもあります。その反面、支えてもらわないと生きていく自信がありません。寄り添ってくれるサポートが必要です。（精神）

12 行 政

○現在の支援や体制、対応内容は現場のことがわかったものになっていません。軽度の場合はよいかもしれませんが、いろいろな対応を国がやってくれなければ市が市民の意見を聞き充実させるべきと思います。しかしやはり役所は民間と異なり、市民の生活をよりよくするため懸命に仕事する姿勢が乏しく、勤務時間だけ何となく仕事をして、と考えている人が多いのを役所に行っても感じます。一生懸命やっている人は、このような意見を読んでもより良

くしていこうと考えてくれると思います。意識の高い人たちを育ててほしいです。市役所に行くとき窓口では誰かが対応するだろう、若い人が対応するのではなく、全員が気を張って全員で声掛け対応が基本と考えてほしいです。意識の高い上の方は、市民の立場で一度窓口を訪問し、声掛けされるまでの時間を計るなど対応を評価してみてほしいです。(身体)

○気軽に相談できるような対応をしていただけるとありがたいです。(療育)

○中年の男性でしたが、窓口で一度だけ日常生活用具の利用が長くなっているから確認をしたいと言われたことがあります。まるで早く死ねって言われたようないやな気持ちになったことがあります。(身体)

○前に市役所に行ったときに、窓口の人(中年の方)が、私が障がいを持っていると知ったとたん、あからさまに態度が冷たくなってすごく悲しい気持ちになりました。ぱっと見、自分は内部に障がいがあるのでわかりにくいかもしれませんが、好きで障がいを持ったんじゃないのに、ましてや役所の人間がそんな対応をするなんて信じられませんでした。改善していただけたら幸いです。(精神)

○小牧市役所の皆様には、私の家に住所を移し、いろいろなサービスをしていただき、姉としては感謝以外ほかにございません。(一)

13 アンケートについて

○よくわからないことばかり書いてあるので答えようのないことばかりです。(身体)

○質問内容がよくわからないところがあります。問10の身体障がいの種類を訪ねる設問は選択肢の分け方が変です。(身体)

○問30、31の障がい福祉サービスなどについての設問がよくわからない。(身体)

○日本語が読めない人のためにそれぞれに合った言語のアンケートがほしい。(身体)

○一応、本人に記入させました。身体の不自由な方は意見を言ったり、質問にきちんと答えることはできますが、うちの娘だけかもしれませんが、知的障がいは質問に答えたり、嫌な思いなどは性質、特質上、記入が難しく思います。嫌な思いをしていても忘れたとか、本人が文章として表現することはとても難しいことです。(療育)

○読めたが内容の意味が理解できませんでした。(精神)

○本当に無作為なんでしょうか。毎回兄弟で来ているような気がします。(精神)

14 その他

○難病で治る見込みがありません。長生きは望んでいませんが、自殺もできません。困ってい

ます。(身体)

○デイサービスにてコロナ対策をもう少しきちんとしてほしいです。対面食事は止めてほしいです。(身体)

○この先のことはわからないけれど、いつまでも自分でできるようにがんばります。パートで働いているけれど時間のあるときは運転免許がないためあちこち歩いています。病院でボランティアをしていました。(身体)

○国政。(療育)

○勝手に人の家に来て上がり込んで、人の郵便物を勝手に見て、これって犯罪でしょう。なのになんで事業所を4つも出せるんですか。障がい者をいじめて食べ物にして金儲けをしている会社があります。一度調査して下さい。(精神)

○いつもお世話になっております。おかげ様です。ありがとうございます。(精神)

○人間が怖くて家のことしかできない状態です。(精神)

○努力して毎日の生活を少しでも楽しくして元気で過ごしたいです。(一)

IV 障がい児

1 福祉

(1) 福祉全般

- いつも支援いただいております。改善してほしい点を述べましたが、それほど困ることもなく暮らせていただいております。本当にありがとうございます。障がい児が2人いますが、代表で兄のことを書かせていただきました。(身体)
- 様々なサービスを受けることができ、家族はとても助けられています。(身体・療育)
- 障がいのある子どもできるだけ地域(学校など)の人達と一緒に、という姿勢に感謝しています。これからもみんなが住みたいと思えるまちになればいいと思います。(身体・療育)
- 他の市町村に比べて個人負担(通所代?)が少なく助かっています。これからも福祉に力を入れていただき、住みよい小牧にしてください。(手帳なし)
- 障がいにIQを付ける前に、軽い、重いもないと思います。みんな家族は大変な思いもし、子育てしながらがんばっていると思います。なのでIQだけではなく、生活面や行動なども含めた上で手帳判定していただきたいと思います。そして、障がいのある子どももみんな成長が違うので、病院に関しても児童精神科やドクターがいて、気軽に行ける病院が小牧にもあるといいと思います。(療育)

(2) 障がい福祉サービス等

- 生涯を通じ、安心して生活できるよう支援を充実させてほしい。知的障がい者の働く場所、親元を離れて生活できる場を増やしてほしい。(療育)
- 障がい児(者)の受け入れ事業を増やしていただきありがとうございます。事業所が増えることはよいことなので、減ることがないようにお願いします。(療育)
- 短期入所施設を増やしてほしい。最初のうちは利用できたが、今年に入り満員との理由で利用できていない。(療育)
- デイサービスで子ども達に接していく中で、言葉がきつときがあると感じました。子どもの話で「冗談で先生が橋の下で拾われた子」って〇〇君に言っていた、と聞き、私はビックリしました。冗談で受け止められる子もいれば、ストレートに受け止める子もいます。ストレートに受け止めてしまう子はとても心に傷を負うと思います。まだ他にもありますが、子ども達への言葉の配慮をお願いします。(手帳なし)
- グループホーム等の施設や事業所を増やしてほしい。就業施設の受け入れ人数を拡充してほ

しい。(療育)

○就労支援サービス先を増やしてほしい。グループホームを増やしてほしい。移動支援を増やしてほしい。(療育)

○小牧市に安心して入所できるグループホームをたくさん増やしてほしい。(療育)

○サービスの質の向上に努めてほしい。障がいのある子、人も住み慣れた地域で暮らし続けられるよう施設(ショート、入居)を充実させてほしい。申請してからサービスが利用できるまでの期間が長すぎます。(手帳なし)

○大人の発達障がい(普通に働く軽度の人を含む)の支援をお願いしたいです。普通に働けるので借金やゲーム課金などの悪いこともできてしまうのです。名古屋だとあいさつやコミュニケーションの取り方などを教えてもらえるデイケアがある病院もありますが、それもかなり少なく限られており、遠いので本人のやる気も続かず、支援を受けられない状態です。本人もですが、周りも困っています。小牧市にもそのような人たちの支援先がほしいです。(手帳なし)

○グループホーム、入所施設を増やしていただきたいです。学校教育が終了した後の居場所の枠(人数)を増やしてほしい。(療育)

○通院の回数が多いため、タクシー券かガソリン券の配布額を増やしてほしい。学習支援教材のためにお金がかかるが、収入があるため補助がもらえなかった。対応を検討してください。100均で揃えられるものだと子どもにはわかりにくかったりする。(療育)

○申請書類が多く、重複した内容を書くのがつらい。申請者の書き方マニュアル動画がほしい。(手帳なし)

○重度の医療的ケア児が利用できる事業所が小牧にもあるといいと思います。移動するのも大変なため、近くにあると安心して通えます。補装具、日常生活用具も相談に乗ってもらい、給付も受けられ、本当に助かっています。大変なことも多いですが、本人も家族も安楽に生活できる時間ができました。(身体・療育・小児慢性特定疾病)

(3) 児童発達支援、早期療育

○児童発達支援サービスも見学に行くと「早く決めてほしい」と言われることがあり困惑しました。(手帳なし)

○児童発達支援でデイサービスを子ども(5歳、3歳)が利用しています。今回、コロナの影響で、私の働いている職場の老人施設では子どもを預けられない職員さんがたくさんみえて人材が足りず大変でした。そんな中、デイの先生方は「力になりたいです。お仕事がんばっ

て下さい」と言って子ども達を率先して預かってくれました。先生方も同じ頃のお子様が見える方だったり、妊婦さんだったりするのに、本当にありがたかったです。他の地域では、小学校同様、休園になっている話も聞いていたので、小牧市に住んでいてよかったと改めて思いました。福祉サービスには大変満足しています。先生方のレベルも意識も高いと思います。コロナ禍でも子ども達はたくさんの愛情をもらい、心が安定する毎日をデイで過ごせました。何でも相談できますし、親も支えてもらっています。このような環境で子育てができて感謝しかありません。これからも大好きな小牧で大切な宝である子ども達の命を育てていきたいです。(療育)

○保育園の障がい児受け入れ態勢をもっと強化してほしい。施設入所もできない、保育園入園もできない、そんな子が日中受け入れてもらえる事業所が少ないので、何か対策を考えてほしい。(身体・療育)

○本人の気持ちは解らない(伝えられない)。いろいろな児童発達支援は書いてあるが、成長、遅れ等に対する発達支援はどのようなものがあるのかわからない。(療育)

○2歳の息子が発達支援を受けていますが、全体的に勉強不足で不明点が多いです。(手帳なし)

○保育園の加配の先生を付けてくれないのが辛すぎます。のどが渴いてもアピールできないから帰ってきて手を洗ったら必死で蛇口の水を飲もうとした。家でこんなことはなくてかわいそうで泣けてきます。一言もしゃべれない子に普通の子と同じようでは園生活はできないと思います。(療育)

○入院中やこだわりで登園できない子どもにもオンライン上で療育参加できるしくみがあればよい。(手帳なし)

(4) 放課後等デイサービス・放課後児童クラブ

○放課後等デイサービス見学に何か所か回りましたが、乳児(預かりかスタッフの子かわかりませんが)を床に寝かせて、子どもが側を走り回っているデイ、子どもを怒鳴り散らすスタッフなど、本当にピンキリだと実感しています。増えればよいというものではないです。パソコン動画やゲームソフトに任せきりの事業所もあります。不安です。(手帳なし)

○小学校へ上がる前に放課後等デイサービスの事業所を探しましたが、どこもいっぱい毎日預かってもらえない、時間が短い等ありました。しかも自分で探さないといけなかったので大変でした。親もいきいき働けるように、サービス向上、質のよい事業所開設、情報の提供があるとよいです。(療育)

○放課後等デイサービスで、月の予定では行くことになっていた日を、数日前に預かってくれ

- る人が出たのでキャンセルした。しかし請求書を見ると利用扱いになってお金を請求されています。当日ならまだわかりますが、数日前でもお金を取るなんて国や県からのお金を欲しがっている気がして不信につながった。利用説明の書類にも何もキャンセルについて書かれていなくて怪しく思う。(身体)
- 子どもが学習障がい放課後等デイサービスに通っています。家での指導では本人に合わせてではなく、どうしても学校の授業についていけないようになってしまうので限界があり、放課後デイに通えることにとっても感謝しています。一方同じように悩んでいるお母さんでも放課後等デイサービスのことを知らない方が多いので認知度をもっと上げてほしいです。また今は小牧市から大口に通っているのですが、小牧市内にも何か何か学習面も支援していただける事業所を増やしてほしいです。(手帳なし)
- 市内の放課後等デイサービスで中学校以降も学校に迎えに行ってもらいたい。土・祝日もできるようにしたらありがたい。療育手帳のCの支援の給付も増やしてほしい。(療育)
- 放課後等デイサービスは決まった曜日しか使えない。キャンセルなど予定変更はしないでほしいなど。児童クラブのように月額を支払えば仕事に行く日、好きなように利用できるとうれしい。児童クラブは発達障がいがあるとという警戒されます。保育園のうちは長期休みなど気にせず働けるが、小学校に上がると長期休みの壁があります。利用している放デイは朝の預かり時間も遅いし、児童クラブのようにはいかない。知的な遅れはなく、通常級に通う子どもはどうすればいいのか。(手帳なし)
- 友達から、小学校放課後児童クラブ利用を入学に当たり手続きしたところ断られたと聞きました。入学前にすでに断られたという驚きと、今後就学し利用を考えたときに同じように断られるのではないかと不安になりました。このようなことがあったので今回のアンケートの間13の『放課後等デイサービス』ではなく『放課後児童クラブ(学童保育)』を利用したいですか」という設問に疑問も感じました。(手帳なし)
- 小学校に上がるにあたって、放課後等デイサービスの利用を予定していますが、送迎待ちの間に学童を利用するように言われています。支援級相当ですが、そのような場合にも必要があるので学童の利用を認めてほしいです。(療育)
- 学童保育と放課後等デイサービスを併用して利用したいです。併用すると利用料が重なり負担も大きく利用するのに躊躇してしまいます。地域に移行するために負担なく利用できるようにしてほしいですし、受け皿(学童保育)もしっかりしてもらえると助かります。(手帳なし)
- 児童クラブに申込したところ、発達障がいの子の偏見もあるのか、対応ができないと断られ

ました（子ども支援係に相談済）。今後は発達障がいの子も対応できるような体制を整えてほしい。児童クラブの申し込みの紙も少し直してほしいです。（手帳なし）

(5) 子育て支援

○小牧市は健常児に対しての子育て支援は手厚いと思いますが、障がい児への支援が少ないと感じながら12年育てています。今回のコロナ支援では、保育園、児童クラブを休んでいる方への支援はありましたが、児童デイサービスを思うように利用できず不満に思っていました。

（療育）

○障がいのある子を学校以外に預ける場所がなく困ります。家族で理解のある支援者のいる方は困らないかもしれませんが、学校のない日や下校が早い日などは通院などもできなくなります。幼稚園のようにどんな事情にも関わらず、たまに学校で4時半くらいまで預っていただけのサービスがあればと思います。高学年になっても障がいがあれば一人で自宅に置いてはおけません。カギっ子にはさせられません。慣れていない人、場所にも預けられません。

（手帳なし）

2 教 育

○今は高校生で障がいについて理解のある学校のため、楽しく通学していますが、小学校、中学校では他の子と一緒にできないとダメな扱いを受けて、自分なんてダメな人間だと思い込み、見ている方も辛かったです。支援クラスに1年在籍しましたが、そこでは優等生になってしまい、心地よいと思えるクラスがなかったと思います。先生方の理解の無さというか、知識が無さすぎて呆れました。もっと先生方に発達障がいについて理解を深めてもらう機会をつくっていただきたかったです。市役所の方にはいつも優しく対応していただけて本当に感謝しています。（手帳なし）

○小牧は他市に比べて、学習障がいを持った子どもの通える専門的な支援施設がないので困っています。塾などでもなく、学習面での専門知識のある方がいる施設、学習面でのハンディキャップのある子どもへの教え方に特化した方をぜひ配置して下さい。（療育）

○教育現場は障がい児に対して勉強不足で、理解しない教師が大半だった。市の教育委員会を中心に勉強会の機会をつくり、障がいのある子どもたちが過ごしやすい学校をつくってほしい。障がい者を受け入れる企業が小牧市は少ない。小牧市は障がいのある子どもたちが住みにくいまちです。早急に改善していただきたいと切に願います。（身体・療育）

○小牧市は特別支援学校が1つのみと聞きました。自閉症、注意欠陥・多動性障がい、アスペ

ルガー、学習障がいのある子どもたちが通える学校があると助かる家庭がたくさんあると感じています。春日井市や一宮市まで行くのは大変だと思います（バスはあります）。一つの意見としてご検討いただければ幸いです。（療育）

○あさひ学園のように小学生も療育してくれるような施設があれば、デイサービスに通うよりもいろいろと教えてくれそうなのでいいと思います。デイサービスに税金を使っただけありがたいですが、それよりも通常学級の中で補助してくれたり、手伝ってくれるような人材を付けてくれた方が不安に思うことなく通常学級で勉強できるので、私はありがたいと思います。（手帳なし）

○知的障がい者、自閉症（身体障がいのない子）向けの支援学校が市内、もしくはもっと近くにあればいいと思います。（療育）

○グレーゾーンの子を育てています。学習内容がどんどん難しくなり、ついていくのが年々大変になっていますが、グレーのため通常学級でこなしていかななくてはならず、このまま落ちこぼれてしまうのではないかと不安です。人の何倍も頑張っても人並みにできない辛さを話せる場所がないです。（手帳なし）

○今はまだ幼稚園ですが、小学校に入学したら行く予定の小学校には自閉症に対応できる先生がいなくていじめを受けやすいと聞いたので、学校生活が過ごしやすくできるように専門の先生やクラスをつくってほしい。登下校のときも家から学校まで遠いので、もう少し大人を立てて見守ってほしい。小学校に入れるのが不安です。（手帳なし）

○中学校支援級でサポートしてくれる先生を増やしてほしいです。小学校の支援級ほど手厚くないと聞いたので。（療育）

3 まちづくり・防災

○障がい者トイレにベッドがないところが多いため、オムツ交換をするのに困ります。座位が取れないのでベッドが必要です。（身体・療育）

○福祉避難所を作ってほしい。（療育）

4 相談・情報提供

○行政サービスに関して、冊子や保護者同士の情報交換により情報を得ている状況ですが、市主催の勉強会などを開催していただけると助かります。具体的に、この程度の障がいの子がグループホームで生活しています。成年後見制度を考えていなかったことで後にトラブルになってしまったなど、今後の生活のトラブルの種になりそうなことを教えてほしいです。（療

育)

○相談できる場所を増やしてほしい。(手帳なし)

○今は委託相談の方にデイサービスの更新の手続きなど手伝ってもらっていますが、知人のところは相談支援を使っているようです。委託相談の方と相談支援の方との違いは何ですか。

(精神)

○本人だけではなく、家族の悩みを聞いてもらえる場がほしい。表面的な対応、例えば「その年頃はそんなものです。障がいがもっと重い方がいて大変」などよくある返答ではなく、専門家の方からの具体的なアドバイスやカウンセリングを受けられる場の紹介などをしていただきたいです。(手帳なし)

○小牧市では言語訓練の相談や、訓練を受けられるところが限られた病院しかないので実際に困りました。もう少し具体的相談や簡単な訓練、アドバイス等をしてくれる機関があると心強いです。(手帳なし)

○コロナにかかってしまったときの支援について、どこに話したらよいか。(精神)

○事業所がわかりづらい。各事業所の案内詳細がわかる資料があると助かります。どこへ行って問い合わせをするべきかわかりづらい。どこへ行っても同じ案内をしてほしいです。(手帳なし)

○障がいをわからず過ごす子どもさんもいると思います。親が気軽に行けて相談ができる場所があれば、学校に入る前とかにもいい選び方ができ、市の学校の先生方も悩まなくてもいいのかと思います。(療育)

○今年、高等部2年に進級しましたが、高等部を卒業後、本人は働きたいと言っております。自立を目指しております。何とか希望どおりにさせてあげたいと思っております。1歳4か月より私(祖母)が育てております。私も病気を持っており、体調の続く限りがんばって育てていきたいと思っておりますが、就職等、ご相談させていただきたく思います。(精神)

○どんなサービスが提供されているのかよく知らない。どこで情報を取ればいいのか知りたい。(手帳なし)

○育てにくい子どもの親としては相談したくても子どもが寝てからしか時間が取れないことが多かったり、電話が苦手な方も多いので、LINEやSNSを活用して、チャット形式で相談できる仕組みがあればよい。(手帳なし)

○障がい者に対し、もっと一般の人達にも理解してもらえる案も作ってもらいたいし、ご近所トラブル(障がい者)に相談できる案があるとよい。(療育)

○市役所の担当窓口がわかりにくいので、次の方たちのためにわかりやすくしてほしい。(療育)

○いつも市役所の皆様には相談に乗っていただきありがとうございます。皆様のお力添えがなければ私は子どもと心中していました。今、子どもと生きていられるのは皆様の助けがあったからです。今は、子どもがかわいくて仕方がないです。子どもを殺さなくて良かった。小牧市が福祉に力を入れてくれているおかげです。これからもよろしくお願いします。年度ごとに、職員の異動があると思いますが、ベテランさんは残留してほしいです。相談に行った時に知っている方とお話しができると気持ちがリラックスできるし、相談もしやすいです。
(身体・療育)

5 アンケートについて

- 本人、家族の声を聞くために、このようなアンケートを実施して下さいありがとうございます。今後の策定にお役に立てれば光栄です。(療育)
- 自閉症と診断名記入のところにありましたが、自閉症の中にアスペルガーも高機能も含まれる(自閉症スペクトラムという症候群の中に含まれる)ため、別の診断名が必要になるのではないかと思います。(療育)
- アンケートは初めてですが、意見を出せる場があることはよいです。公的な場で相談する機会は学校以外で全然ないですし、利用者の方々の声も聞きたいと思います。(手帳なし)

6 その他

- あさひ学園に通っていましたが、先生がちょくちょく辞めていました。もしお給料などで辞めていたら、もっと増やしてあげてほしい。とても大変な仕事だと思うので、ぜひお願いしたいです。また、コロニーで受ける手帳の更新ですが、行くのが大変なので小牧市内で更新できるようにしてほしい。建物も古くて気が滅入ります。(療育)
- 我が子なのでとても可愛いはずなのに、最近では私自身余裕がなくて怒ってばかりです。何度同じことを説明しても何度も繰り返します。不幸や嫌とは一度も思ったことはないですが、障がい児を育てていくことはとても難しく、ストレスになるときもあります。特に発達障がい親や環境次第では症状も目立たないと言われたことがあり、目立つ=私たち親や環境がだめだからかと自分を責める日々です。(身体・療育)
- 幼稚園で発達の遅れを指摘されてから診断が出るまでに時間がかかった。小児科の予約が取れないので認定医院を増やしてほしい。(手帳なし)